【健康科学部 心理学科】カリキュラムマップ（2023年度入学生用）

授与する学位：学士（心理学）		ディプロマ・ポリシー
知識・理解	幅広い視野	DP1：人、自然、環境、社会、地域、国際について幅広い教養を有している
		DP2：心理学について適切な知識や理解、そして技術を有している
		DP3：幅広い視野をもって合理的・批判的に判断できる
汎用的能力	基本的能力	DP4：適切な日本語運用力を修得し、活用することができる
		DP5：母語以外の特定の外国語について基礎的なスキルを修得し、活用することができる
		DP6：基礎的ICTの知識・スキルを修得し、適切に活用することができる
		DP7：数的データを含む多様な情報を適切に収集・分析し活用することができる
態度・志向性	豊かな人間性	DP8：仏教精神を理解し、自らの理解・判断・行動を見つめ直す姿勢を身につけている
		DP9：多様性の尊重と共生の精神を有している
		DP10：日本の伝統文化を深く理解し、その成果を自分の生活に生かすことができる
	態度・志向性	DP11：高い倫理観を持ち、思いやりの心を忘れずに他者と接することができる
		DP12：心理学の知識・理解・技能等に基づき、対話や議論を重視し、他者・他文化との相互理解に努めることができる
		DP13：心理学の知識・理解・技能等を活用して、社会に参画する態度を有している
統合的な学習経験と創造的思考力	応用的能力	DP14：自らの生涯を見通す視野を持ち生涯を通じて学び続け、キャリア形成をする力を備えている
		DP15：現代社会の諸問題を解決するために、心理学の専門的知識と技能を活用し、問題解決に実践的に取り組むことができる

学科目	科目の主題	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号 ○：DP達成のため設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して合わせて最大3個まで														
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
心理学概論	心理学の成り立ちと人の心の基本的な仕組み及び働きについて理解する	1. 心理学の基本的な考え方や方法論について、その成り立ちや背景を学ぶ		○													
		2. 知覚、学習（条件付け）における心の基本的なメカニズムを学び、日常場面での心理学的関心を広げる		○													
		3. 記憶や動機付け等の基本的な仕組みについて学び、認知や目標達成における心の働きについて理解する		○													
社会心理学入門	社会心理学とそのアプローチ法について初歩的知識を習得する	1. 対人魅力・化粧行動・自己に関する研究の基礎知識を修得できる		○													
		2. 実証的データに基づいて人間の心理や行動を理解できる							○								
		3. 社会心理学のアプローチ法を理解できる							○								
発達心理学入門（保育の心理学）	発達心理学の基礎的な知識を習得し、子どもの発達過程や学びについて理解する	1. 保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について理解する		○													
		2. 子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を深める。		○											○		
		3. 乳幼児期の子どもの学びについて基礎的な知識を習得し、保育における人との関わりや体験、環境の意義を理解する。	○	○													
臨床心理学入門	臨床心理学の簡単な歴史とその背景とともに、身近な話題を通して心の構造やその働きを理解する	1. 臨床心理学の簡単な歴史とその背景を理解する	○	○													
		2. 臨床心理学の目的や心理臨床の知見に触れ心の構造の理解を深める									○						○
		3. 精神発達理論における各年代の発達課題とその危機を理解する							○							○	
心理学統計法	心理学で用いられる統計手法を学び、統計に関する基礎的な知識を習得する	1. 記述統計学の諸測度について理解する		○													
		2. 母集団と標本について理解する		○													
		3. 推測統計と統計的検定について理解する		○					○								
心理学研究法	心理学における実証的研究法について学び、データを用いた実証的な思考方法と研究における倫理を習得する	1. 観察法、調査面接法、質問紙法、実験法に関連する基礎概念と実施プロセスについて理解できる		○										○			
		2. 量的データの分析に必要な基礎概念について理解し、分析結果を読み取ることができる		○					○								
		3. 研究における倫理を習得する		○									○				
環境心理学	人と環境の相互作用について理解する	1. 嫌悪環境における人に心や行動の変化とその対応について理解する		○													
		2. 国際化の波が押し寄せる中、異文化適応や地球市民といった国際社会での対応について理解する	○	○										○			
		3. 地球温暖化などの時事問題に触れ、人間の未来への正と負の遺産について考察し、その対策を理解する	○	○													
社会ゲーミング・シミュレーション	社会や環境をシミュレートしたゲームを実施しながら、現実の人間社会の中で起こりうる葛藤や矛盾を疑似体験し、人が共生することの意味を実践的に学習する	1. よりよい共生社会を構築する方略を自ら考える力を養う		○													
		2. 社会の複雑性を理解し、様々な社会的立場と心理を多角的視点から考察する		○											○		
		3. 葛藤と解決の方略を体験的に学習する		○													○
京都文化心理学	私たちの学びの場である「京都」をテーマとして、京都らしさ、癒し、文化の観点から心理学的に理解することを試みる。	1.「京都らしさ」を心理学的に分析し、和菓子作りを通じて「京都らしさ」を体験的に理解する							○								
		2. 日常生活における「癒やし」について心理学的視点から学び、匂い袋作りを通じて「癒し」と香りの関係を体験的に理解する	○														
		3.「京都」の「文化」を「癒し」の観点から考察し、「京都」の「文化」スポットを訪れて、「癒し」を体験しつつ「京都」に対する理解を深める	○														
専門職の連携（基礎）	医療福祉機関をはじめとした地域の生活者の支援に関わる職種の役割を理解する	1. 取得を目指している資格は、他職種と連携し地域における包括的なヘルスケアシステムを担い、人の命を救う専門職としての資格であることを理解する		○											○		○
		2. 地域における包括的なヘルスケアシステムを担う他の専門職を理解する									○		○	○			
		3. 他職種の視点を通して、将来についてのより明確な自己像を描けるようになる													○	○	○
神経・生理心理学	人間の行動や「こころ」のはたらきが、どのような生理学的過程や脳のどのような活動により生み出されているのかを理解することを目的とする。	1. 脳神経系の構造及び機能について理解する		○													
		2. 記憶、感情等の生理学的反応の機序について理解する		○													
		3. 高次脳機能障害の概要について理解する		○													○
知覚・認知心理学	人間の知覚・認知に関する基本的な知識を習得する。	1. 人の感覚・知覚等の機序について理解する		○													
		2. 人の認知・思考等の機序について理解する		○													
		3.人の感覚・知覚、認知・思考等の障害について理解する		○													○
学習・言語心理学	学習心理学及び言語心理学に関する基本的な知識を習得する。	1. 人の行動が変化する過程を理解する		○													
		2. 学習心理学に関する基礎概念と理論を理解する		○													
		3. .言語の習得における機序を理解する		○													
比較行動学	現存する種の認知を比較し、その相違点と当該種が現在置かれている状況と照らし合わせて、当該種の「こころ」が進化した要因を推測する比較行動学の概要を理解する	1. 種による感覚・知覚・記憶・概念形成の相違について理解する	○	○													
		2. 種による推論とメタ認知、社会的認知の相違について理解する	○	○													
		3. 種によるコミュニケーション、社会的知性の相違について理解する	○	○													
公認心理師の職責	公認心理師の役割について理解し、公認心理師として必要な力を身に付ける	1. 公認心理師の役割、法的義務及び倫理について理解する		○									○			○	
		2. 心理に関する支援を要する者等の安全の確保、情報の適切な取り扱いについて学ぶ											○				○
		3. 保健医療、福祉、教育その他の分野における公認心理師の具体的な業務及び他職種連携・地域連携について理解する			○						○				○		
臨床心理学概論	臨床心理学の成り立ちと臨床心理学の代表的な理論について理解する	1. 臨床心理学の基本的な考え方や概念について、その成り立ちや背景を学ぶ		○										○			
		2. ライフサイクルの観点から、それぞれの心理的課題とその援助について理解する		○									○				
		3. 臨床心理学の代表的な理論について学ぶとともに、それぞれの特徴や相違について理解する		○													○
心理学的支援法	様々な心理学的支援の方法について理解する。	1. 代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応と限界、訪問支援や地域支援の意義、関係者支援について理解する		○													
		2. プライバシーへの配慮とともに、良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法を理解する												○			
		3. 心の健康教育について理解する													○		○
発達心理学	生涯における心身の発達と、非定型発達について学ぶ	1. 認知機能の発達、感情・社会性の発達、及び自他の関係と心理発達について理解する		○													
		2. 誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達について理解する	○	○													
		3. 発達障害等非定型発達についての基礎的な知識及び考え方や高齢者の心理社会的課題及び必要な支援について理解する		○											○		

学科目	科目の主題	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号 ○：DP達成のため設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して合わせて最大3個まで														
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
障害者・障害児心理学	障害者、障害児、障害者の家族を支援するために必要な種々の障害についての知識と支援について学ぶ	1. 身体障害の概要について理解する		○							○						
		2. 知的障害及び精神障害の概要について理解する		○							○						
		3. 障害者・障害児の心理社会的課題及び必要な支援について学ぶ													○		○
子どもの心理臨床	現代の社会状況を背景にして、子どもたちの心がどのような状況におかれているか、子どもたちのこころに寄り添い、支え育む心理臨床の視点を習得する	1. 家庭の教育力の低下と子どもの心の状況の関係について理解する	○	○													
		2. 社会の歪み、ひずみ、社会病理と子どもの心の状況の関係について理解する									○						
		3. 現代の学校における子どもの状況を理解する													○		○
心理的アセスメントⅠ	心理的アセスメントの目的・倫理を学ぶと共に各心理検査を実際に使用して心理アセスメントの観点やその展開について習得する	1. 心理的アセスメントの目的や定義を理解する		○										○			○
		2. 心理検査の歴史、種類を学び、各心理検査の適応水準を理解する	○	○													
		3. 心理検査と心理療法の有機的関係について理解する				○			○								
心理的アセスメントⅡ	心理的アセスメントの解釈やフィードバックに必要な適切な記録及び報告書の書き方に習熟する。	1. 質問紙法を実際に行ってパーソナリティの理解を深める												○			○
		2. 知能検査を実際に行って知能についての考え方を知り解釈方法を習熟する		○											○	○	
		3. 投影法、バウムテスト・風景構成法・P-Fスタディを使用しながら心理療法との関係の理解を深める			○									○			○
青年心理学	青年期の発達と心理及び青年期特有の問題を理解する	1. 青年心理学に関する主要な理論を理解できる		○		○											
		2. 青年期の身体的変化、知的発達、自我発達、情緒、対人関係について理解できる	○								○					○	
		3. 現代における青年期特有の問題について理解し、自己理解を深める			○										○		○
教育心理学	心身の発達及び学習の過程（障害のある人の心身の発達及び学習の過程を含む）について理解する	1. 知能の意味と創造性との関連性について理解する		○													
		2. 学習の動機づけに関する理論を理解し、やる気をおこさせる手法について考察する		○													
		3. 発達障害など学級における問題を探り、その指導方法の注意点と課題について理解する		○							○						
感情・人格心理学	人の感情に関する諸理論と行動との関係を学び、人格に関する諸理論を理解する	1. 感情に関する理論と感情が喚起される仕組を理解する		○													
		2. 感情が行動に及ぼす影響を理解する			○												
		3. 人格の概念・類型・特性を学び、人格形成のプロセスを理解する。		○													
子どもと人間関係	領域「人間関係」の内容及び乳幼児期の子どもの人間関係について理解し、子どもに対する援助や環境構成について考える	1. 領域「人間関係」の基本的内容を理解する		○													
		2. 乳幼児期の人との関わりの発達過程を理解し、ふさわしい援助や環境構成について考えることができる		○											○		
		3. 実技を通して、子どもの人間関係を育む力を養う		○											○		
子どもとことば	乳幼児のことばの発達と役割を理解し、保育内容の領域「言葉」について、実践的に学ぶ。言語獲得の過程を乳児期から丁寧にみることにより、言葉のもつ機能を知り、子どもと言葉への理解を深めていく。特に、人間関係の中でコミュニケーションをとる力の育ちや言葉を使って考える経験を積み重ねていくような援助のあり方を考える。	1. 乳幼児のことばの発達と役割を理解し、保育内容の領域「言葉」について、実践的に学ぶ	○												○		
		2. 言語獲得の過程を乳児期から丁寧にみることにより、言葉のもつ機能を知り、子どもと言葉への理解を深めていく	○	○													
		3. 人間関係の中でコミュニケーションをとる力の育ちや言葉を使って考える経験を積み重ねていくような援助のあり方を考える													○		○
社会・集団・家族心理学	人と人の結びつき、人と家族・集団との関わりの中で生まれる相互作用と影響について心理学的に考察し理解する力を修得する。	1. 対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程を理解する		○											○		
		2. 社会生活における人の態度および行動について理解する		○											○		
		3. 家族、集団および文化が個人に及ぼす影響について理解する		○											○		
コミュニティ心理学	少子高齢化社会における豊かな「まちづくり」活動をテーマに取り上げ、身近な活動事例を通じてコミュニティ心理学の概念および理論について学ぶ	1. コミュニティ心理学の基本概念と理論について理解する	○	○													
		2. 中心市街地活性化の取り組みについて、国際比較に基づき理解する	○								○						
		3. 身近な景観問題を手掛かりに、まちづくり活動について理解する			○										○		
司法・犯罪心理学	犯罪行動、非行行動、加害者と被害者の心理、家事事件と心理学の関わり、犯罪・非行に関する要因、司法・犯罪分野における心理学的支援の理解をめざす。	1.犯罪・非行、犯罪被害及び家事事件についての基本的知識を習得する		○													
		2.理論的研究と実証的研究に基づいて、犯罪・非行に関する要因を理解する		○													
		3.司法・犯罪分野における問題に対して必要な心理に関する支援を理解する		○													
産業・組織心理学	職場における問題に対して必要な心理に関する支援や、組織における人の行動について学ぶ	1. 職場における問題（キャリア形成に関することを含む）に対して必要な心理に関する支援について理解する		○												○	
		2. 組織における人の行動について理解する		○												○	
		3. 職場におけるリーダーシップなどの人間関係について関する理論を理解する		○												○	
マーケティング心理学	マーケティングは、市場環境を考慮して、どのような商品やサービスを、どのような消費者に、どのような方法で売ったらよいかを実践していくための経営技法である。本授業では、企業で商品の企画・開発、販売管理等のマーケティング実務を行なう上で必要な基礎知識の修得を目的とする	1. 現代のマーケティング・マネジメントで必要とされる理念について理解する	○	○													
		2. 市場需要の探索と事業領域の選択について基礎理論を踏まえて理解できる			○												
		3. 広告戦略と販売促進戦略の基礎理論について理解できる														○	
消費者心理学	消費者行動の理論とそのマーケティングへの応用について学ぶ	1. 消費者行動と 購買意思決定過程モデルについて理解する	○	○													
		2. 消費者の満足・不満足について、購買意思決定過程モデルから検討することができる			○												
		3. 社会的文化的状況下において集団と個人から影響をうける消費者行動について理解する													○		
社会福祉	現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷及び社会福祉における子ども家庭支援の視点について理解する。社会福祉の制度や実施体系等、相談援助、利用者の保護に関わる仕組み及び社会福祉の動向と課題について理解する。	1. 現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷及び社会福祉における子ども家庭支援の視点について理解する。															
		2. 社会福祉の制度や実施体系等及び動向と課題について理解する。															
		3. 社会福祉における相談援助及び利用者の保護にかかわる仕組みについて理解する。															
児童・家庭福祉（子ども家庭福祉）	現代社会の子どもの生活実態を、子どもと子どもをとり巻く環境の視点からとらえて把握する。また、そのなかで生じている社会問題や生活上の困難について、児童・家庭福祉領域においてどのような理念・考え方のもと、どのような支援がなされているのかについて学んでいく	1. 現代社会における子どもの生活実態を知り，その背景を多面的に理解する															
		2. 子ども家庭福祉の基盤となる理念・価値を学ぶ															
		3. 子ども家庭福祉における具体的な制度・サービスなどを知り，それらの活用と子どもや家庭への支援について検討する															
子ども家庭支援論	子育て家庭に対する支援の意義・目的を踏まえたうえで、保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本を理解する。また、支援体制や子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題についても理解する。	1. 子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解する	○														
		2. 保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本を理解する													○		
		3. 支援体制や子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題についても理解する													○		○
スポーツ心理学	スポーツに関わる人々の心理について理解する	1. スポーツに関わる人の心理について理解する															
		2. スポーツに関わるメンタルトレーニングについて理解する															
		3. スポーツを愛好する心を育む															
社会と統計	社会調査の基本的事項と意義について学ぶ、また、社会調査の歴史や実際の調査例についても学び、社会と統計との関わりについて理解を深める	1. 社会調査の目的と意義について理解する	○						○								
		2. 社会調査の歴史や調査倫理について理解する							○								
		3. 実際の調査例をもとに、量的調査、質的調査について理解する							○						○		
心理学実験Ⅰ	心理学実験の計画立案を実施する力を養い、統計に関する基礎的な知識を身につける。心理学の方法論を習得すると同時にレポートを作成を通じて学術論文作成の基礎を身につける。	1. 心理学のレポートの書き方・心理学実験の倫理について理解する		○					○								
		2. 心理学実験の計画立案について理解する		○					○								
		3. 統計に関する基礎的な知識を身につける		○					○								
心理学実験Ⅱ	心理学実験の計画立案を実施する力を養い、統計に関する基礎的な知識を身につける。心理学の方法論を習得すると同時にレポートを作成を通じて学術論文作成の基礎を身につける。	1. 目撃者の証言などの実験を通じ、記憶の基礎知識と体制化について体験し、理解する		○					○								
		2. ストループ課題などの実験を通じ、知覚のメカニズムについて体験し、理解する		○					○								
		3. 印象形成などの実験により、対人認知のメカニズムについて体験し、理解する		○					○								
心理学データ解析Ⅰ	量的な心理学データの分析法としての統計的解析法の理論と実際について学習し、卒業論文で必要となるデータ解析を正確に実行するための技術を習得する	1. 統計解析パッケージプログラムのSPSSでデータ入力やデータ変容といったの基本操作を行うことができる							○								
		2. SPSSを用いて、記述統計量(代表値、散布度、度数分布)を出力し、グラフの作成を行うことができる							○								
		3. SPSSを用いて推測統計（仮説検定の論理、母数の推定)、相関分析、カイ二乗検定を行うことができる							○								

学科目	科目の主題	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号 ○：DP達成のため設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して合わせて最大3個まで														
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
心理学データ解析Ⅱ	量的な心理学データの分析法としての統計的解析法の理論と実際について学習し、卒業論文で必要となるデータ解析を正確に実行するための技術を習得する	1. 対応のないデータのt検定、対応のあるデータのt検定、1サンプルのt検定を行うことができる							○								
		2. 一要因分散分析と二要分散分析を行うことができる							○								
		3. 反復測定データの分散分析を行うことができる							○								
社会とジェンダー	日常生活の様々な場面でどのようにジェンダーが構築されているか実践的に学ぶ	1. 文化と社会におけるジェンダーの構築について意識を高める															
		2. ジェンダー問題の国際比較をし、諸外国の現状を理解するようになる															
		3. ジェンダーに関する問題を発見、調査し、研究結果をプレゼンテーションに纏まることできるようになる															
女性の生き方・働き方	女性を取り巻く社会環境やライフスタイルを知る	1. 他者の生き方を好意的に受け入れる力を身につける															
		2. 女性を取り巻く社会環境を理解する															
		3. キャリアビジョンをまとめる															
女性と現代社会	女性を取り巻く社会の現状を理解し、キャリア形成に必要なスキルを身につける	1. 女性の現状をデータに基づき理解する															
		2. 女性を取り巻く法律を理解する															
		3. 男女共同参画の理念を理解し活用することができる															
女性と経済	パーソナル・ファイナンス入門	1. 収支管理の必要性を理解し、かつ、ライフプランの実現のために不可欠な資金計画の基本を理解している															
		2. 基礎的な金融知識を持ち、金融商品を適切に利用選択できる															
		3. Excelを用いて、「家計のバランスシート」、「家計のキャッシュフロー表」を作成できる。また、金利計算ができる															
女性のキャリア形成	自己表現と自己理解	1. 決められた条件で自己紹介をまとめ、周囲に的確に伝えることができる															
		2. 自分の長所・短所を理解し、モチベーションを維持する															
		3. 目標達成に向けた具体的な行動計画をたてて実行する															
健康・医療心理学	ストレスと心身の疾病との関係について理解する。医療現場、保健活動が行われている現場、災害時等における心理社会的課題および必要な支援について理解する。	1. 心と身体のつながりについて、心理学的な考え方を身につける	○	○													
		2. 医療・健康活動等が行われている現場において生じる心理社会的課題について理解する		○											○		
		3. 医療・健康活動等が関わる現場においていかに周囲と連携しつつ、必要な心理的支援を行うかについて理解する													○		○
教育・学校心理学	教育現場における問題及びその背景と、心理社会的課題及び必要な支援について学ぶ。	1. 学校における問題を学校コミュニティの立場から見立てる力を修得する		○										○			
		2. 児童生徒および保護者との面接技法、教師のコンサルテーション、予防的介入など、学校現場に臨床の知恵を生かす工夫について学習する									○			○			
		3. 不登校、ひきこもり、摂食障害、発達障害、非行などに対する援助法を理解・会得できる											○				○
心理演習Ⅰ	知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とし、具体的な場面を想定した役割演技（ロールプレイング）を行い、事例検討で取り上げる。	1. 心理に関する支援を要する者等に関するコミュニケーションについての知識及び技能を習得する		○									○				○
		2. 心理に関する支援を要する者等に関する心理検査・心理面接についての知識及び技能を習得する		○									○				○
		3. 心理に関する支援を要する者等に関する地域支援についての知識及び技能を習得する												○	○		○
心理演習Ⅱ	知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とし、具体的な場面を想定した役割演技（ロールプレイング）を行い、事例検討で取り上げる。	1. 心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成について学ぶ			○										○		○
		2. 心理に関する支援を要する者等の現実生活を視野にいれたチームアプローチ及び他職種連携・地域連携について理解する												○	○		○
		3. 公認心理師としての職業倫理及び法的義務について理解する											○		○	○	
心理実習Ⅰ	座学による基礎知識の修得と、医療機関や福祉施設等の見学を通じて、心理支援におけるチームアプローチ、地域連携、職業倫理や法的義務についての理解を深める。	1. 心理支援におけるチームアプローチについて理解する											○	○			○
		2. 他職種連携および地域連携について理解する												○	○		○
		3. 心理支援を行う専門家の職業倫理および法的義務について理解する											○		○	○	
心理実習Ⅱ	自らの対人援助の経験（ボランティアやアルバイト）と心理援助の知識とを重ね合わせることで、心理援助の実践技能を高めると同時に、心理支援におけるチームアプローチ、地域連携、職業倫理や法的義務についての理解を深める。	1. 心理支援を要する人に対し状況に応じた心理的配慮と関与が行える											○	○			○
		2. 心理支援におけるチームアプローチ、他職種連携および地域連携について理解する											○	○			○
		3. 心理支援を行う専門家の職業倫理および法的義務について理解する											○		○	○	
子どもの理解と援助	子ども理解の具体的方法や、子ども理解に基づく保育士の援助や態度の基本を習得する。	1. 実態に応じた子ども一人一人の心身の発達や学びを把握することの意義について理解する												○			
		2. 子どもを理解するうえで基本的な考え方や子どもを理解するための具体的な方法を理解する		○											○		
		3. 子どもの理解に基づく保育士の援助や態度の基本について理解する											○			○	
子ども家庭支援の心理学	生涯発達に関する心理学の基礎知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。家族・家庭の意義や機能を理解し、子どもと家庭を包括的に捉える視点を習得する。子育て家庭が抱える課題や子どもの精神保健とその課題についても理解する。	1. 生涯発達に関する基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する	○	○													
		2. 家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達的な観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。		○											○		
		3. 子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題及び子どもの精神保健とその課題について理解する。			○												○
発達支援実習	保育所等における実習を通して、「特別なニーズを要する子」の支援方法を考える	1. 子どもの認知と社会性発達を理解できる	○	○													
		2. 「特別なニーズを要する子」に対して客観的に観察し、適切に記録できる		○							○						
		3. ケース・カンファレンスでの当該ケースの発表を経て、支援策を立案できる			○												○
関係行政論	法体系と公認心理師法や、保健医療、福祉、教育、司法・行政、産業・労働の各分野に関係する制度について学ぶ	1. 保健医療分野に関係する制度について理解する		○												○	
		2. 福祉分野、教育分野に関係する制度について理解する	○														
		3. 司法・行政分野、産業・労働分野に関係する制度について理解する	○												○		○
福祉心理学	福祉的対応を必要とする人々の心理について理解し、福祉的対応に役立つ知識を身につける。	1. 福祉現場において生じる問題及びその背景について理解する	○														
		2. 福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援について理解する		○											○		
		3. 虐待及び認知症についての基本知識を身につける		○													○
犯罪者プロファイリング演習	犯罪行動への心理学的アプローチ	1. 犯罪捜査に関する心理学を理解できる		○													
		2. プロファイリングに関する論文を読んで、犯人像を理解できる		○													
		3. 犯罪捜査に関連するテーマについて検討し、議論を深める			○												
対人スキル・コーチング演習	人を育てるための技法であるコーチングを導入し、グループワークやロールプレイなどを活用し、高度な対人スキルを育成するための実践的・体験的学習を行う	1. 自分を主張するスキルや対人葛藤に対処するスキルなど豊かなコミュニケーション力を身につける		○													○
		2. より適正な対人関係を営むための行動変容を誘う気づきと方略を提供する		○													○
		3. 他者との円滑な人間関係を構築するための対人スキルをより高度に修得する		○											○		○
社会的養護Ⅰ	現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷を押さえたうえで、子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本を理解する。また、社会的養護の制度・実施体系等、対象・形態、関係する専門職等の理解も目指す。社会的養護の現状と課題全般も把握する。	1. 現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷について学ぶ															
		2. 社会的養護と児童福祉の関連性及び児童の権利擁護について理解する															
		3. 社会的養護の制度や実施体系等について理解する															
心理学データ解析Ⅲ	量的な心理学データの分析法としての統計的解析法の理論と実際について学習し、卒業論文で必要となるデータ解析を正確に実行するための技術を習得する	1. サンプルデータに対して因子分析を適切に行うことができる							○								
		2. サンプルデータに対して重回帰分析を適切に行うことができる							○								
		3. サンプルデータに対してクラスター分析を適切に行うことができる							○								
社会調査法	具体的な社会調査の方法を学び、社会調査を実施する上で最低限必要な一通りの知識と技術を修得する	1. 社会調査の目的と方法について学ぶ	○						○								
		2. 調査の設計と実施方法について理解する							○								
		3. 調査データの整理に関する基本的知識を修得する							○								

学科目	科目の主題	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号 ○：DP達成のため設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して合わせて最大3個まで														
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
社会調査実習Ⅰ	社会調査の基本的知識を学び、グループ実習を通して初歩的な調査技術を習得することを目的とする。調査企画の手順と要点を説明し、授業全体での調査テーマを設定する。グループに分かれて、グループの調査テーマを設定する。グループ内で調査目的・仮説を明確化する。質問項目・回答方法の設定の仕方について説明し、グループごとに質問項目と回答方法を検討する。調査票を作成し、グループ間で相互チェックした後、印刷、製本をする。サンプリングについて理解した後、調査対象を決定する	1. 社会調査の基本的知識を習得できる							○								
		2. 社会調査を企画できる							○								
		3. 調査票を作成できる							○								
社会調査実習Ⅱ	社会調査を行う基本的知識や技術を習得することを目的とする。グループに分かれて、調査を実施する。データの集計方法を説明し、調査して得られたデータをコーディングし、パソコンにデータ入力する。データ分析に用いる基本的方法について説明し、各グループの調査目的に沿った分析を決定する。パソコンを用いて分析を行い、分析結果を検討する。分析結果に基づいて報告書を作成する。グループごとに発表し、討論の後、各グループの分析結果に基づいて、調査全体としての結論を導く	1. 社会調査の基本的技術を習得できる							○								
		2. 社会調査を実施できる							○								
		3. 調査データを分析できる							○								
人体の構造と機能及び疾病	基本的な人体の構造と機能及び疾病について学ぶ	1. 心身機能と身体構造について理解する	○														
		2. 様々な疾病や障害についての知識を身に付ける		○													
		3. がん、難病等の心理に関する支援が必要な主な疾病について理解する		○													○
メンタルヘルス論	職場におけるメンタルヘルスに関する基礎知識を習得し、心の病理に対する偏見を払拭し理解を深める	1. ストレスとストレス対処に関する理論を理解できる		○													
		2. 職場不適応と復職支援についての知識を習得する	○	○													
		3. 様々な心の病について、その病のメカニズム、心の病にある人の苦しみ、および予防策について理解できる													○		○
小児看護学	小児期の成長・発達の理解及び小児保健の動向を学ぶ。小児医療における子どもの権利について学ぶ	1. 小児看護実践のための子どもの成長・発達について理解している		○	○												
		2. 小児医療と子どもの権利の関連を理解している									○		○	○			
		3. 現代社会に生きる子どもと家族の健康問題を理解している	○						○								○
包括的ヘルスケア論	包括的な視点で地域・在宅で生活している人々に対する保健・医療・福祉の施策の動向を学ぶ	1. 我が国の少子高齢化に伴う問題を理解する	○								○		○				
		2. 地域包括ケアの理論と制度を学ぶ	○								○		○				
		3. 地域包括的ケアの実際を学ぶ			○							○			○		
ターミナルケア	ターミナル期の問題を理解し、現状を学んだうえで、いかにターミナル期の患者に向き合うかについて、学修する	1. ターミナル期の患者が抱える問題を理解する								○	○		○				
		2. ホスピス運動や緩和ケアの現在について理解する			○						○		○				
		3. コミュニケーションスキルや死生観（基本的な心構え）などを学ぶ	○							○			○				
生命倫理	人の生命の尊厳と基本的権利、尊厳死などについて学び、言語聴覚士として基本的倫理原則・倫理理論を学ぶ	1. 人としての命の尊厳と基本的権利を言語聴覚士の視点から理解できる			○					○						○	
		2. 対人援助職として倫理的原則、生命・医療倫理を理解している								○				○		○	
		3. 日常生活の場の問題解決を倫理的判断にもとづいて考察できる			○							○					○
専門職の連携（応用）	他職種との連携協働の実際を学習する専門職連携に関する発展的な科目であり、実践力のある専門職として就職するための総まとめ的な学習を行う	1. 他職種間での専門的かつ高次なコミュニケーションをはかれるようになる			○						○			○			
		2. 実例を取り上げることで、より具体的で実践的な援助方法を理解する			○									○			○
		3. 専門職としての自己意識を高め、資格取得に向けての意欲向上を目指す			○									○		○	
精神疾患とその治療Ⅰ	精神疾患の概要について学び、本人や家族への支援及び薬剤が心身に与える影響について理解する。	1. 精神疾患総論について理解する		○													
		2. 向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化について理解する			○												
		3. 医療機関との連携について理解する													○		○
マインドフルネス心理学	マインドフルネスの基礎知識とメカニズム、実践方法を学ぶと共に、その背景にある心理学の理論や社会的ニーズについて学ぶ。	1. マインドフルネスの基本的知識・技法について理解する		○													
		2. マインドフルネスの社会的ニーズとその応用方法について知る		○											○		
		3. メンタルヘルスに資するマインドフルネスの実践手法を体験的に理解する		○													○
保育原理	保育の基本事項を学ぶ	1. 保育所の役割を理解する						○						○	○		
		2. 保育用語を理解する						○						○	○		
		3. 保育所保育指針における保育の基本を理解する						○						○	○		
教育原理	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	1. 教育の意義、目的について理解する		○											○	○	
		2. 教育の思想、歴史的変遷について学び、教育に関する基礎的な理論について理解する		○	○									○			
		3. 教育実践の様々な取り組みについて理解する		○											○	○	
保育者論	幼稚園教員・保育士の役割と職務内容の理解、チームとしての園運営を含む職務内容について学ぶ。	1.教育・保育関連法規に定められた幼稚園教諭・保育士の位置づけや職務内容を理解する		○										○	○		
		2. 幼稚園教諭・保育士の専門性について理解し、自らの保育者像を言語化する		○										○		○	
		3. 保育者の成長と、それを支える研修のあり方、保育者の協働について理解する		○										○			○
子どもの保健	子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。子どもの心身の健康状態とその把握の方法を学び、子どもの疾病とその予防法及び多職種間連携・協働の下での適切な対応について理解する。	1. 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する													○	○	
		2. 子どもの心身の健康状態とその把握の方法を学ぶ														○	
		3. 子どもの疾病とその予防法及び多職種間連携・協働の下での適切な対応について理解する														○	○
保育の計画と評価	乳幼児期における教育課程・全体的な計画（保育課程）とはどのようなものか。また計画をもとに実践をしたことに対する評価・改善についてもどのように考えるかを理解する。	1. 教育課程・全体的な計画（保育課程）の全体構造を知り、計画の必要性とその意義を理解する		○										○	○		
		2. 指導計画・保育計画の作成や記録、反省評価に関しての基本的な考え方を理解する		○										○	○		
		3. カリキュラムマネジメントについて理解する		○										○	○		
子どもと健康	保育内容「健康」の領域の理解を深め、乳幼児期の健康・運動に関する知識を深めることを目的とし、乳幼児期の心身の発育、運動能力の発達、環境とこどもの健康との関連などについても理解し、保育や援助の仕方について考える。	1. 乳幼児期の心身の発育と運動能力の発達について理解する														○	
		2. 環境と子どもの健康について理解する														○	
		3. 発育発達に応じた望ましい援助を考えることができる														○	○
乳児保育Ⅰ	乳児保育の意義・目的と歴史的変遷や役割について理解する。具体的な保育の場における乳児保育の現状や課題について考える。3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育内容と運営体制について理解し、乳児保育における連携・協働の意味について学ぶ。	1. 乳児保育の理念と歴史的変遷及び役割等について学ぶ														○	
		2. 保育所、乳児院などにおける乳児保育の現状と課題について理解する														○	
		3. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育内容と運営体制について理解し、乳児保育における連携・協働の意味について学ぶ														○	○
心理学基礎演習Ⅰ	大学での学び環境に適応し、学びに必要な基本的方法や技術を習得する	1. 建学の精神を理解し、大学での学び環境に適応する								○	○						
		2. 個人や小グループで資料を調べる			○				○								
		3. 調べた資料に基づき、要点を発表する			○	○								○			
心理学基礎演習Ⅱ	自分史を作り、自己理解を深め将来像を設計する	1. 本や新聞を読みこなす力をつける	○		○												
		2. 発表とディスカッションを通して、柔軟な思考力やコミュニケーション能力を高める				○								○			
		3. 自分史に基づき将来像を設計する														○	
心理学基礎演習Ⅲ	本授業の目的は、心理学の専門的知識の習得だけでなく、まずは専門書や論文に触れることで、受験生が今後の学習の質を向上させるきっかけを提供することである。これらを通じて心理学的視点から自己と他者理解を深める機会とする	1. 心理学の専門的な文献を読解する力を身につける	○		○												
		2. 発表に関する学生同士のディスカッションにより、心理学の知識を深める力を得る												○			
		3. 教員と学生の双方向的なやり取りを通し、心理学の理解をより深く確かなものとする												○			
心理学基礎演習Ⅳ	本授業の目的は、心理学の専門的知識の習得だけでなく、まずは専門書や論文に触れることで、受験生が今後の学習の質を向上させるきっかけを提供することである。これらを通じて心理学的視点から自己と他者理解を深める機会とする	1. 心理学の専門的な文献を読解する力を身につける	○		○												
		2. 学生同士のディスカッションや親睦を深めることを通し、心理学の生きた知識を得る												○			
		3. 教員と学生の双方向的なやり取りを通し、心理学の理解をより深く確かなものとする												○			

学科目	科目の主題	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号 ○：DP達成のため設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して合わせて最大3個まで														
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
心理学専門演習Ⅰ	臨床心理学・発達心理学・社会心理学の専門的知識と方法論を習得する	1. 図書館やデータベースを利用して専門的文献を検索し、収集できる						○									
		2. 収集した文献の内容を理解し、発表資料に適切にまとめることができる				○											
		3. 発表資料に基づいて、学習内容を発表し、討論できる				○											
心理学専門演習Ⅰ（保育実践演習）	実習等の体験での学びを振り返るとともに、保育に関する現代的課題について分析し、自己の課題を把握する	1. 保育に関する専門的知識や技術、教養、判断力、倫理観等が習得されたか振り返り把握する			○											○	
		2. 実習での体験や収集した情報に基づき、保育に関する現代的課題について現状を分析し、その対応について考察する力を習得する	○														○
		3. 自己の課題を明確化し、保育実践に必要な資質・能力を身につける			○									○			○
心理学専門演習Ⅱ	臨床心理学・発達心理学・社会心理学の専門的知識と方法論を習得する	1. 図書館やデータベースを利用して専門的文献を検索し、収集できる						○									
		2. 収集した文献の内容を理解し、発表資料に適切にまとめることができる				○											
		3. 発表資料に基づいて、学習内容を発表し、討論できる				○									○		
心理学専門演習Ⅲ	臨床心理学・発達心理学・社会心理学の専門知識と方法論に基づいて、卒論執筆に向けて研究を行う	1. 研究テーマに関する文献を読破できる						○									
		2. 読破した複数の文献の関連性を検討し、先行研究の流れを理解できる				○											
		3. 研究計画を立案できる				○								○			
心理学専門演習Ⅳ	臨床心理学・発達心理学・社会心理学の専門的知識と方法論を習得する	1. 図書館やデータベースを利用して専門的文献を検索し、収集できる		○		○											
		2. 収集した文献の内容を理解し、発表資料に適切にまとめることができる		○										○			
		3. 発表資料に基づいて、学習内容を発表し、討論できる		○	○												
心理学英語文献講読Ⅰ	心理学に関する英語文献を読むための基礎的な能力を修得できる	1. 英文読解の基礎力を高める					○										
		2. 心理学の基礎概念を英語で読み、心理学の基礎的理解の幅を広げる		○			○										
		3. 英語で心理学の知識が理解できる		○			○										
心理学英語文献講読Ⅱ	心理学に関する英語文献を読むための基礎 的な能力を身につけるとともに心理学への理 解を深める	1. 英文読解の基礎力を高める					○										
		2. 心理学の基礎文献を英語で読み、著者の意図のより深い理解を目指 すことで、心理学自体に対する理解を深める		○			○							○			
		3. 英語を通すことで、日本語とは異なる側面から心理学を理解できるよう になる				○	○										
心理学特別演習Ⅰ	心理学の専門職を目指す者他を対象に、臨床心理学についての理解を深め、心理臨床の実践を行う上で必要となる高度な知識と基本的な考え方、態度を理解・習得する	1. 心理学の応用問題の解答の方法を学ぶ	○	○		○											
		2. 臨床心理学の専門的知識を整理し、関連するテーマについて検討し、議論を深める												○			
		3. 心理臨床の実践に必要な考え方を修得する															○
心理学特別演習Ⅱ	心理学の専門職を目指す者他を対象に、臨床心理学についての理解を深め、心理臨床の実践を行う上で必要となる高度な知識と基本的な考え方、態度を理解・習得する	1. 心理学の応用問題に対する思考の方法を学ぶ		○		○											
		2. 臨床心理学の専門的知識を整理し、関連するテーマについて検討し、議論を深める												○			
		3. 心理臨床の実践に必要な考え方を修得する															○
卒業研究	先行研究を基礎として自分のテーマに基づいて課題を発見し、心理学的観点において考察することができる	1. 課題発見能力、論理的思考力、洞察力、説得力のある表現力、自説を論理的に述べあげていく能力、を身につける		○	○												
		2. 積極的に自分のテーマと向き合い、推敲を重ねて文章表現と構成を工夫する		○	○	○											
		3. 自分の研究テーマについて心理学的観点から考察できる													○		
卒業論文	自分の選択したテーマに適したアプローチに基いてデータを収集して実証的研究を行う、または幅広いレビューを元にして新しい展望を得て文献研究としてまとめる	1. 課題発見能力、論理的思考力、洞察力のある表現力、自説を論理的に述べあげていく能力、を身につける		○	○												
		2. 実証されたデータに基づき考察を行う		○	○				○								
		3. 独自な視点の開拓や実証性の高い知見を発見できる			○										○		
グラフィックデザイン	デジタルツールによる画像処理および印刷の基礎知識と技術を修得する	1. アプリケーションを使用し、写真の編集ができる		○				○									
		2. デジタルツールによるイラストを作成できる		○				○									
		3. 印刷物ができるまでのプロセスを理解し、印刷用データを作成できる		○				○									
ビジュアルデザイン	ビジュアルコミュニケーションの基礎知識と技術を修得する	1. 視覚的伝達力＝企画・表現・コミュニケーションの能力を高める		○													
		2. デジタルツールで表示するためのデザインを理解している						○									
		3. スマホのアプリを横断的に活用できる						○									
社会保障Ⅰ	日本の社会保障制度と年金保険・医療保険の概略を理解できる	1. 日本の社会保障制度の概略を理解できる		○													○
		2. 年金保険と医療保険の仕組みを説明できる		○													○
		3. 外国の制度と比較して、問題点を指摘できる		○													○
社会保障Ⅱ	日本の社会保障制度としての雇用保険・労災保険・介護保険を理解できる	1. 雇用保険・労災保険の制度を理解できる		○													○
		2. 介護保険と高齢者の生活を説明できる		○													○
		3. 外国の制度と比較して問題点を指摘できる		○													○
子どもの食と栄養	子どもの特性を理解し、健康の維持・増進に貢献するための食事に必要な知識・技術を習得する	1. 栄養と食品に関する基礎知識を身につける		○										○	○		
		2. 子どもの発育・発達に応じた食生活のあり方を理解する		○										○	○		
		3. 食育の基本を学び食育の企画ができる		○										○			○
子育て支援	保育の専門性を背景に保育士が行う保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援について、その特性と展開を具体的に理解する。保育士の行う子育て支援について、実践事例等を通して具体的に理解する。	1. 保育の専門性を背景に保育士が行う保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援を理解する														○	
		2. 保育の専門性を背景に保育士が行う保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の特定と展開を理解する														○	
		3. 保育士の行う子育て支援について、実践事例等を通して具体的に理解する														○	○
保育内容総論	幼児期の発達特性や幼児教育の基本を理解して保育内容の考え方を学び、子どもの活動を5領域から総合的に捉える視点を養う	1. 保育における実践を5つの領域から総合的に捉えることを理解する														○	
		2. 子どもの今後の発達を見据えた保育案を立案しようとする														○	
		3. 保育の内容を具体的にイメージし、実践へとつなげることを理解する														○	○
乳児保育Ⅱ	3歳未満児の発達・発育の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について学ぶ。子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境や乳児保育における配慮及び計画の作成について具体的に理解する。	1. 3歳未満児の発達・発育の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方を学ぶ														○	
		2. 子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境を理解する														○	
		3. 乳児保育における配慮及び計画の作成について具体的に理解する														○	○
障害児保育	障害児保育を支える理念や歴史的変遷と障害児及びその保育を理解する。さらに、個々の特性やや身の発達等に応じた援助と配慮、障害児その他の特別な配慮を要する子供の保育の計画作成や援助の具体的方法、関係機関との連携・協働、現状と課題についても学ぶ。	1. 障害児保育を支える理念や歴史的変遷について学び、障害児及びその保育について理解する														○	
		2. 様々な障害について理解し、子どもの理解や援助の方法、環境構成等について学ぶ														○	
		3. 障害のある子どもの保育の計画を作成し、個別支援及び他の子どもとのかかわりのなかで育ち合う保育実践について理解を深める														○	○
社会的養護Ⅱ	子どもの理解を踏まえ、社会的養護の基礎的な内容を具体的に理解する。また、施設養護と家庭養護の実際、計画・記録・自己評価の実際、相談援助の方法・技術について、そして、子ども虐待防止と家庭支援について理解する。	1. 社会的養護における児童の権利擁護や保育士などの倫理について具体的に学ぶ		○										○			○
		2. 施設養護及び他の社会的養護の実際について学ぶ		○										○			○
		3. 個々の児童に応じた支援計画を作成し、日常生活の支援、治療的支援、自立支援等の内容について具体的に学ぶ		○										○			○
子どもの体育	幼児期から児童期の子どもにとって適切な運動を行うことは身体的発達のみならず、知的・情緒的・社会的発達を促すうえで必要不可欠なことから、これら子どもの運動能力の発達に適切な運動課題を理解し、実践できる力を身に付ける。	1. 保育の内容を理解し、子どもの遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を習得する														○	○
		2. 身体表現等の表現活動に関する知識や技術を習得する														○	○
		3. 表現活動に係る教材等の活用及び作成と、保育の環境構成及び具体的展開のための技術を習得する														○	○
音楽療法	音楽表現に関する基本的な知識や技術について学ぶ。そのうえで、乳幼児期の子どもにとって音楽のもつ生理的・心理的効果を理解し、心身の障害の軽減回復、機能の維持改善、生活の質の向上、問題 となる行動の変容などに向けて、意識的に音楽を活用する知識と技能を身につける。	1. 保育の内容を理解し、子どもの遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を習得する														○	○
		2. 音楽表現等の表現活動に関する知識や技術を習得する														○	○
		3. 表現活動に係る教材等の活用及び作成と、保育の環境構成及び具体的展開のための技術を習得する														○	○
図画工作	造形表現に関する基本的な知識や技能を身に付け、さまざまな活動を通して楽しさや喜びを体験し、保育の中で取り扱う教材やそれらを展開するために必要な知識や技能を習得することを目的とする。	1. 保育の内容を理解し、子どもの遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を習得する														○	
		2. 造形表現等の表現活動に関する知識や技術を習得する														○	
		3. 表現活動に係る教材等の活用及び作成と、保育の環境構成及び具体的展開のための技術を習得する														○	

学科目	科目の主題	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号 ○：DP達成のため設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して合わせて最大3個まで														
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
レクリエーション指導法	幼稚園・保育園等での子どもを対象にした行事・親子行事等におけるレクリエーション活動の指導に関する理論と実際について、具体的な活動の計画の立て、実践する。	1. レクリエーション活動に関する理論を理解する		○										○	○		
		2. 子どもや親子を対象にしたレクリエーション活動の計画を立て、実践する		○										○	○		
		3. 立案したレクリエーション活動の計画に基づいて実践し、振り返りにおいて課題を把握する		○										○	○		
子どもの健康と安全	保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。関連するガイドラインや近年のデータ等をふまえ、保育における健康及び安全の管理について学ぶ。また、子どもの体調不良等に対する適切な対応や感染症対策について、具体的に理解する。	1. 保健的観点を踏まえた保育環境及び援助について理解する														○	
		2. 保育における健康及び安全の管理、子どもの体調不良等に対する適切な対応や感染症対策、保育における保健的対応について具体的に理解する														○	
		3. 健康及び安全の管理の実施体制について理解する														○	
保育実習指導Ⅰ	保育実習の意義と形態について理解を深め、保育実習Ⅰに臨むにあたっての各自の実習の課題を明確にし、実習記録の書き方や指導計画の立て方を学び、実習に向けての準備を行う。さらに、保育実習の意義と形態、保育実習Ⅰの課題、実習記録の書き方や指導計画の立て方について理解する。	1. 保育実習の意義・目的を理解する														○	
		2. 保育の内容を理解し、自らの課題を明確にする														○	
		3. 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する														○	○
保育実習指導Ⅱ	保育実習Ⅱに向けての事前指導及び事後指導を行う。保育実習Ⅰでの各自の課題を踏まえ、保育実習Ⅱの目標を明確にし、指導計画作成などの施設での保育実践に必要な知識、技能を身につける。また、実習を振り返り、報告会や事後面談を通して保育実践のための自己の目標を明確にする。	1. 実習や既習の教科の内容やその関連性をふまえ、保育実践力を培う														○	
		2. 保育の観察、記録及び自己評価等をふまえた保育の改善について実践や事例を通して学ぶ														○	○
		3. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に関する課題や認識を明確にする														○	○
保育実習指導Ⅲ	保育実習Ⅲに向けての事前指導及び事後指導を行う。保育実習Ⅰでの各自の課題を踏まえ、保育実習Ⅲの目標を明確にし、指導計画作成などの施設での保育実践に必要な知識、技能を身につける。また、実習を振り返り、報告会や事後面談を通して保育実践のための自己の目標を明確にする。	1. 実習や既習の教科の内容やその関連性をふまえ、保育実践力を培う														○	
		2. 保育の観察、記録及び自己評価等をふまえた保育の改善について実践や事例を通して学ぶ														○	○
		3. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に関する課題や認識を明確にする														○	○
保育実習Ⅰ（保育所）	保育所での実習（2週間/80時間）を通して、保育所の役割、保育士の仕事を理解するとともに、子どもの発達にそった援助の方法を学ぶ。また、乳幼児と実際にかかわることにより乳幼児の発達について理解するとともに、保育士の役割について具体的に学ぶ。	1. 保育所の役割や機能を具体的に理解する														○	
		2. 観察や子どもとのかかわりを通して子どもへの理解を深める														○	○
		3. 既習の教科の内容をふまえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に学ぶ													○	○	○
保育実習Ⅰ（施設）	障害児または障害者施設での実習（2週間/80時間）を通して、施設における保育士の仕事や利用者への援助の在り方について学び、障害児（者）への理解を深めるとともに、施設の機能と施設での保育士の職務について理解する。。	1. 児童福祉施設の役割や機能を具体的に理解する														○	
		2. 観察や子どもとのかかわりを通して子どもへの理解を深める														○	○
		3. 既習の教科の内容をふまえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に学ぶ													○	○	○
保育実習Ⅱ	保育実習Ⅰでの各自の課題を踏まえ、乳幼児への理解を深めるとともに、保育所の機能と保育士の職務について学ぶ。さらに、保育所・保育士の役割について理解を深め、保育実践のための必要な知識・技能を身につけ、さまざまな保育ニーズについての理解を深めることを目標とする。	1. 保育の計画、実践、観察、記録及び自己評価等について実際に取り組み、理解を深める														○	
		2. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結び付けて理解する													○	○	○
		3. 保育士としての自己の課題を明確化する														○	○
保育実習Ⅲ	児童福祉施設等での実習（2週間/80時間）を通して、障がい児（者）への理解を深めるとともに、施設の機能と施設保育士の職務について学ぶことを目的とする。実習施設の機能と利用者の生活の流れを理解し、施設保育士の役割について学び、利用者のニーズをくみとり、適切な援助を行う。	1. 家庭と地域の生活実態にふれて、児童家庭福祉及び社会的養護に対する理解をもとに保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を養う														○	
		2. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結び付けて理解する													○	○	○
		3. 保育士としての自己の課題を明確化する														○	○